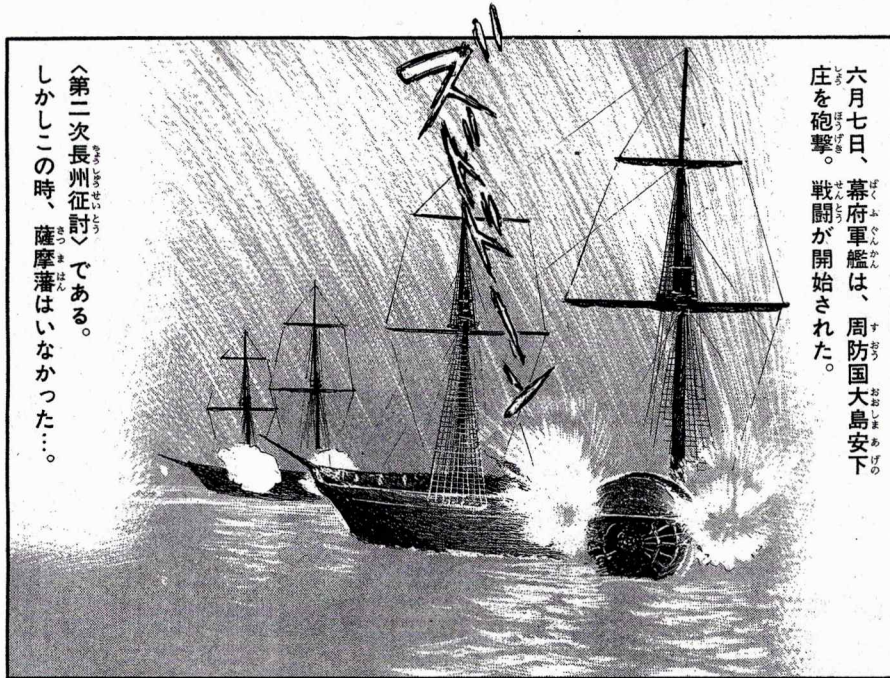


● Culture



六月七日、幕府軍艦は、周防国大島安下の庄を砲撃。戦闘が開始された。

〈第二次長州征討〉である。しかしこの時、薩摩藩はいなかった…。



大島は、幕府軍と松山藩兵が一時占領したが…

石森章太郎「新装版マンガ日本の歴史21 幕末動乱と御一新」(中公文庫) ©石森プロ 長州と戦う幕府軍の姿が描かれる

## 勉強や作業 えり好み

武士が海軍を作り上げるにあたっては、現代から見ればほほえましいエピソードも多かった。長崎海軍伝習所では、武士たちが砲術などは勉強したがるものの、帆を張ったり縮めたりするためのロープを使う甲板上の作業は、衣服に油污れがつくからと嫌がるなど、えり好みをしていた。

また、艦船の厨房を撤去し、火鉢を置くことを提案する武士もいた。当時は食事時に七輪や火鉢

で煮炊きをするのが一般的だったが、海上自衛隊での勤務経験を持つ金澤教授は「船は今でも火の始末が嚴重で、船上でめいめいが煮炊きをするなどあり得ない。日本人の指導役だったオランダのカッテンディーケ大尉は心底あきれたことだろう」と話す。

当時の軍艦の実像もあまり知られていない。蒸気船といっても、通常は石炭節約のため帆走で、蒸気機関は逆風時や接岸時などに限



海岸の茶店からペリー艦隊を見物する人々(「黒船来航風俗絵巻」より。埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵)

って稼働させた。また、ペリー艦隊は、「黒船」という異名から鉄製だったと思われるが、実際は「ピッチ」と呼ばれる黒色の樹脂を塗った木造船だった。

\* 歴史研究が深まるにつれて日本史のトピックは見直されています。「日本史アップデート」では、研究成果を反映した最新説を、広く知られた従来説と比較しながら紹介します。「世界史アップデート」と隔週で掲載の予定です。